

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和5年度 入間市公民館運営審議会 (第3回)
開 催 日 時	令和6年3月14日 (木) 午前10時00分 開会 ・ 午前10時45分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 5階501会議室
議 長 氏 名	西澤裕子
出席委員(者)氏名	西澤裕子 中西一敏 塚原とみ子 双木茂芳 岡崎幸子 木下英次 小山輝久 開坂武
欠席委員(者)氏名	今泉大二郎、伊與田麻利
説明者の職氏名	社会教育課 課長 浅川 英雄 社会教育課 主幹 奥村 芳人
会 議 次 第 (<input type="checkbox"/> 公開・非公開の別)	1 開会 2 委員長挨拶 3 確認事項 4 協議事項 5 報告事項 6 その他 7 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0名
配 布 資 料	1 令和5年度入間市公民館運営審議会 報告 2 地区センター後の公民館の役割について
事務局等職員職氏名	教育部部長 浅見嘉之、次長 佐藤政史、 社会教育課長 浅川英雄、主幹 奥村芳人、副主幹 片寄智恵 主任 新井竣介
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項

○概要

下記の点について事務局より説明を行う。内容について運営審議委員より確認等のある場合は、質疑応答を行う。

今回審議において特に議決すべき案件はなく、委員及び事務局との間の質疑応答と各委員の意見提出のみが行なわれた。

（質疑応答の詳細については、会議録（3）による）

（1）確認事項

学校運営協議会及び地域学校協働活動の組織について

（2）協議事項

令和5年度入間市公民館運営審議会 報告について

（3）報告事項

令和5年度入間市社会教育委員会議「地区センター移行後の公民館の役割について」

会議録(3)

発言者	発言内容
西澤議長 (黒須公民館)	<p>※委員発言が行われた部分のみ記述する。</p> <p>本日の出席委員は8名で会議は成立する。それでは、確認事項「学校運営協議会及び地域学校協働活動の組織」について事務局から説明願う。</p>
浅川課長	<p>(「学校運営協議会及び地域学校協働活動の組織」について説明)</p>
西澤議長 (黒須公民館)	<p>ただ今の説明について、質問等はあるか。</p> <p>質問なしのため、協議事項「令和5年度入間市公民館運営審議会 報告」について事務局から説明願う。</p>
奥村主幹	<p>(「令和5年度入間市公民館運営審議会 報告」について説明)</p>
西澤議長 (黒須公民館)	<p>ただ今の説明について、質問等はあるか。</p>
開坂委員 (西武公民館)	<p>私自身扇町屋地区センターでサークル活動を実施しており、3月6日に扇町屋地区センターで行われた利用者懇談会に出席した。その際に、扇町屋地区センター担当者より、分館施設閉鎖に伴う施設利用者の確保のため、サークル活動で利用する時間を原則4時間以内にして欲しいという依頼があった。実際、サークル活動を4時間以上使用しているサークルもある。分館施設の閉鎖は、第2次公民館基本計画の基本理念からかけ離れているものであるため、取り消していただきたい。</p>
浅川課長	<p>分館施設の閉鎖については、令和10年度末に閉館するという市の方針であるため、変更できない。ただ、第2次公民館基本計画との整合性を保つため、社会教育課としては、今年度から各地区センターでの利用者懇談会で、地区センター担当者からの説明だけではなく、出席者との協議及び交流の場を設けるようにした。これにより、お互いに現状及び課題を共有し、課題解決に向けて話し合えるようにした。サークル活動の施設予約を優先するという方法を採用しているのは、近隣で入間市だけであり、地区センター化により今まで通り運営することが難しくなっている状況である。さらに、地区センター化によってどのような影響が出ているのかを社会教育課で確認している段階であるため、具体的にどのように対応するかについては、今後の課題であると認識している。</p>

発 言 者	発 言 内 容
西澤議長 (黒須公民館) 岡崎委員 (宮寺公民館)	<p>他に質問等はあるか。</p> <p>毎週月曜日に子ども食堂関係の会議を宮寺・二本木地区センターで開催しているが、子ども食堂の活動時間について、4時間以上実施している状況である。4時間以上地区センターを使用したい場合は、どのようにすればよいか。</p> <p>また、宮寺・二本木地区センターと二本木分館を比較すると、現状二本木分館の方が利用しやすい状況である。宮寺・二本木地区センターを今後リフォームするようなことがあるのか。</p>
浅川課長	<p>宮寺・二本木地区センターについては、入間市公共施設マネジメント事業計画から、第3期(令和21年度から令和30年度)に建替えを実施する予定である。サークル利用時間を4時間以内としていることは、あくまで原則であり、サークルの事情や事業の特性などで4時間以上の活動を要すことは十分ありうるため、担当者が各地区センターと調整していただきたい。</p>
西澤議長 (黒須公民館) 小山委員 (東藤沢公民館)	<p>他に質問等はあるか。</p> <p>東藤沢地区の現状について報告すると、4月上旬までに、各団体に対して、代表者の報告を依頼しており、取りまとめ次第、5月頃に東藤沢地区センターと各団体の代表者との話し合いの場を設けるように動いている。話し合いの場を設ける目的として、各団体が地域づくりや地区センターの利用などについてどのように考えているかという本音を確認するためである。運営委員や自治会等が地域づくりやつながりづくりを検討し、行動に移すだけでは限界があるため、第2次公民館基本計画の基本目標を達成するために、いかにして子ども達が地域に関わるようにしていくかを考える必要がある。</p>
浅川課長	<p>公民館としてだけでなく、地域学校協働活動事業にも関わる話であったため、今後とも何かあったら報告または相談をしていただけると助かる。</p>
西澤議長 (黒須公民館) 木下委員 (藤沢公民館)	<p>他に質問等があるか。</p> <p>藤沢地区センターのサークル利用団体数について、藤沢地区センター本館で120団体、藤の台分館で40団体活動している。藤の台分館を閉鎖した場合、藤沢地区センター本館のみで閉館施設分の団体を全部受け入れるのは、かなり難し</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>西澤議長 (黒須公民館)</p> <p>奥村主幹</p> <p>西澤議長 (黒須公民館)</p>	<p>い状況である。閉館で影響のある団体が、団体ごとの意見を言うのは、閉館ギリギリになってからであることが予想される。については、社会教育課から対象団体に対して、現状の説明を今から定期的に周知してほしい。藤沢地区センターでは、夏祭りの実施方法や文化祭の開催方法について、各団体に対してアンケートを実施することで、団体が施設閉館について検討するきっかけを作っている。</p> <p>他に質問等はあるか。 次に、報告事項について事務局から説明願う。</p> <p>(報告事項について説明)</p> <p>今の報告について、質問はあるか。質問なしのため、以上で本日の議題は全て終了し、議長の座を下りる。</p>
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和6年4月 2 日</p> <p>議 長 の 署 名 <u>西澤裕子</u></p>	

